

古河市立釈迦小学校 令和7年度 グランドデザイン

【本校の教育目標】

よく考え、思いやりのある、元気な子の育成

【めざす学校像】

- ふれ合いのある学校
- 学び合う学校
- 地域から信頼される学校

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 元気な子

【めざす教師像】

- 指導力のある教師
- 人間性豊かでやる気のある教師
- 子どもの気持ちを理解できる教師

【組織目標】

- ①学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
- ②心の居場所となる学級・学校づくり

よく考える子	思いやりのある子	元気な子
たしかな知恵をのびします	ゆたかな心をそだてます	つよい体をつくります
学校で取り組むこと		
学ぶ意欲を引き出し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに努める	自己肯定感を高め、主体的に取り組む力を育成する	健康な心身とやりぬく力を育成する
○確かな学力を育む授業の推進 ・「論理的に考え、表現する力を育成する授業」を研究していきます。 ○基礎・基本の確実な定着 ・チャレンジテスト等を充実させ、漢字力や計算力等の基本的な力を定着させます。 ○ICT機器の効果的な活用 ・ICT機器の効果的な活用に努め、個別最適な学びの充実を図ります。 ・遠隔・オンライン授業等の充実を図ります。 ○読書活動の推進 ・言葉や感性、表現力を高めるために、家庭と連携しながら読書習慣を身に付けさせます。	○よりよい人間関係を築き、安心して学び合える集団の基盤づくりの推進 ・児童同士が、互いに尊重し合う温かい人間関係を築くための話し合い活動を充実させます。 ○特別活動の充実 ・縦割り班活動を計画的に実施し、学年を超えた人間関係づくりを推進します。 ○道徳教育の充実 ・道徳の授業、教育活動全体を通して人権感覚を養い、いじめや差別の根絶を目指します。 ○特別支援教育の推進 ・特別支援教育の職員研修を充実させ、全職員の連携協力による指導・支援を充実させます。	○体育の授業の充実 ・運動量を確保する時間と場を設定した、主体的活動を促す授業改善を進めます。 ○業間休み、昼休みの外遊びの励行 ・ボール遊び、なわとび、鉄棒などで楽しみながらの体力向上を目指します。 ○健康・安全・防災教育の充実 ・様々な想定での避難訓練を計画的に実施し「自分の命を自分で守る」意識を育みます。 ○「早寝・早起き・朝ご飯」の推進 ・学級活動での指導の充実と、お便りや懇談会等を通じた家庭との連携を図ります。
目標 ・「自分の考えを伝えることができる」：80% ・「チャレンジテスト等に向けて家庭学習をがんばっている」：80% ・「調べたり考えを深めたりするためにクロムブックを使う」：80% ・「たくさん本を読むようにしている」：80%	目標 ・「学級の話合い活動に進んで参加している」：80% ・「友だちと仲良くしている」：90% ・「道徳の授業で考えたことを書いたり発表したりしている」：80% ・「自分には良いところがある」：80%	目標 ・体力テスト(A+B)：60% ・「休み時間は外で元気に遊んでいる」：90% ・「登下校で安全に気をつけている」：90% ・「朝ごはんをしっかりと食べている」：90%
家庭にお願いしたいこと		
・家庭学習(宿題や自学)の見守り ・親子で博物館や町巡りの体験 ・家庭での読書タイム	・家庭内でのあいさつや会話 ・家庭内でのしつけ(モラル、マナー、エチケット) ・様々な社会経験の積み重ね	・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進 ・親子でアウトドア活動 ・わが家のゲーム、スマホのルール作り
地域に協力してほしいこと		
・学校支援ボランティアの充実 - 教育環境整備(校庭の除草など) - 学校生活の手伝い(学習サポーターなど)	・感動する体験の提供 ・地域活動で世代間交流(お祭り、子供会、育成会)	・登下校時の通学路のウォーキング ・地域防災訓練の実施

地域社会に開かれた学校

- 家庭・地域との連携推進
- ・学校運営協議会を通して、家庭・地域の意見を聞き、学校の魅力や課題について共有することで、地域と共にある学校を目指します。
- 地域資源、地域人材の活用
- ・野菜栽培体験の畑借用や登下校の安全を守る交通安全サポーター等、地域の力を借りながら、より良い学校を目指します。
- 積極的な情報の発信
- ・学校だより、学校HPや学校公開を通して、学校での児童や教職員のがんばっている姿を広く知ってもらいます。

信頼される教職員

- 指導力の向上
- ・講師を招聘した校内研修の推進や教師間による相互授業参観等を通して、教員としての資質・能力の向上を目指します。
- コンプライアンス意識の高揚
- ・互いに意見を言い合える風通しの良い職員集団をつくり、動画の活用やロールプレイ等研修を充実させ、服務規律の確保に努めます。
- 働き方改革の推進
- ・週あたりの時間外在校時間10時間未満を目標に設定し、業務改善・行事精選により、持続可能な教育活動を目指します。